

卒業を迎えて



暖かな日差しに春の訪れを感じはじめた季節に、私たち 2 年生 3 名は国立療養所長島愛生園附属看護学校を卒業いたしました。親元を離れ、初めての環境で勉強してきたこの 2 年間は決して簡単なものではなく、逃げ出したい時もありました。しかし、共に切磋琢磨した仲間の存在や先生方、家族、様々な方々のサポートにより乗り越えることができました。

2 年前、年齢も背景も出身地も異なる仲間と出会い、その仲間と様々な場面でディスカッションを重ねていくうちに多様な価値観があることを知りました。そして、相手の話をよく聴き、否定しないことがその人を理解していくためには大切であると考え、過ごしてきました。

実習では、患者様の言葉を頼りに必要な看護を考えていきました。しかし、長島愛生園で実習を行った際に、受け持たせていただいた入所者様と一緒に時間を過ごす中で、言葉だけでなくわずかな身体や顔の動き、声かけに対する反応で気持ちを伝えてくださっていることを知りました。そこから、気持ちをくみ取って押しつけにならない看護を提供していくことが大切であると教えていただきました。

4 月からはそれぞれ新しい場所で 1 歩ずつ歩んでいきます。これまでの実習で出会ったすべての患者様や、ここ長島愛生園で出会った入所者の皆様に恥じないよう、常に自分の言動を省み、前向きに助言を受け止めて努力し続けていきたいと思っています。

